

子育て支援について

内田美智子

昭和の終わりころ、子育て支援という言葉はなく玉村町は子育てに適した環境ではなかったと思う。保育所の長時間保育などニーズがなかったのでしょうか。

現在では保育環境が整えられて良かったです。日本は少子高齢化が進み国をあげて子育て支援をしています。

当然の権利で父親の育休取得、子育て参入が見られます。子育て施設へはお父さんが幼い子どもを連れて遊びに来ることが多くみられ、どのお父さんも子どもとの遊びを自ら楽しみ子育てしている感じがします。排泄や食事の世話まできちんとやっている様子に感心します。

国が手当（お金）を出し子育て環境を整えていますが、少時的外れなところもあるような気がします。満三歳になると保育料が無料になる方針は、保育現場のことを考えるとそこはどうなっているのか疑問です。満三歳とは、学年が乳児組になるので途中入園になる子がほとんどで、未満児クラスがない施設は一学年上のクラスに入ります。入園する子も負担になるし、受け入れ側のほうも大丈夫なのか疑問です。年少組から無料をしたほうが子どもにとっても、幼児施設にとても良いのにと感じてしまいます。

障害を持つ子、何らかの支援の必要な子も安心して生活していけるような本当の子育て支援が必要だと思います。